

学校評価趣意書

令和5年4月25日
尾道市立栗原中学校

1 学校内外の状況

本校は、尾道市中心部の北側に位置し、千光寺公園などの観光地に近い。かつては全校生徒が1000人を超える時代もあったが、現在は364人程度の中規模校となっている。生徒は、栗原小学校と栗原北小学校の出身者が大半を占める。また、尾道市において伝統ある中学校として、地域や保護者の学校に対する期待は高く、PTA活動も盛んである。

生徒は、中体連等の大会で活躍し、多くの賞を獲得するなど活気に満ちている。しかし、不登校生徒や支援を要する生徒が多く存在するなど課題は大きい。そのため、継続して広島県教育委員会から生徒指導サポート実践校の指定を受け、問題行動の未然防止や不登校対応の充実を図るため、県や市教育委員会の指導のもと、組織的な生徒指導の推進に取り組んでいる。

特に、学力面では課題が大きく、令和4年度全国学力・学習状況調査では、広島県や全国の平均正答率を下回っている。これらの解消のため、チームハート（生徒指導部）が学習規律や学習環境を整え、チームキャリア（教育研究部）が授業改善に取り組み、チームカリマネ（教務部）が教育課程を整備し、「生徒が粘り強く学習に取り組む」ことができるように組織的に教育環境の充実に取り組んでいる。

分掌では、教務主任、生徒指導主事、研究主任、学年主任には、意欲と機動力がある若手を配置し、スピード感をもって日々の業務に当たっている。毎年、新採が複数人採用されるなど教職員の若返りが急速に進んでいる。個々の教職員の特性を踏まえて適材適所に人材を配置し、計画的に人材育成を行い、これからの広島県の教育を担う人材を育成していく必要がある。

子ども達の成長のため、教職員の教師力の向上のため、「チーム栗原」として学校が一丸となり取組を推進していく。

2 ミッション

主体性と規範意識を身に付け、心を育てる小中連携教育の推進

3 ビジョン

(1) めざす教職員像

- ・高い倫理観と豊かな人間性を備えた教職員
- ・生徒のよさに気づき、伸ばす教職員
- ・生徒に寄り添い、一緒に感動し、喜びあえる教職員
- ・謙虚さを持って常に自己研鑽に努める教職員

(2) 育てたい生徒像

- ・周りから応援される生徒
- ・自分自身が好きで、仲間を大切にし、人の痛みがわかる生徒
- ・栗原が好きで、愛着と誇りを持てる生徒
- ・夢や志を抱き、自ら学び、考え、判断し、主体的に行動できる生徒

(3) めざす学校像

- ・目標とされる学校
- ・挨拶、歓声、歌声が響き渡り、心が和む学校
- ・生徒が「行きたい」保護者が「行かせたい」教職員が「働きたい」と思う学校

4 重点課題

(1) 学力向上…道徳科を中心とした授業改善を図り、全教科に共通する授業スタイルを確立させることで、主体的に取り組む態度を育成する。また、振り返り活動を充実させるとともに、ICTを効果的に活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する。

(2) 豊かな心の育成…積極的な生徒指導の推進、教育相談活動の推進、部活動や生徒会活動の充実を図ることで、生徒の自治的な風土を醸成し、自己指導力の育成を目指す。

(3) 組織的・機能的な学校運営体制の確立…「チーム栗原」を合い言葉に、学年会と分掌会が縦横に連携し、情報を共有しながら、さらに機能的な組織づくりを目指す。

